

平成23年3月教育委員会会議（定例会）会議録

- 1 日 時 平成23年3月29日（火）午後1時30分～午後3時05分
- 2 場 所 所沢市役所6階 602会議室
- 3 出席者 [委員] 富田常世委員長、清水三和子委員長職務代理者、守谷靖委員、京谷圭子委員、佐藤徳一教育長
[事務局] 山寄裕司教育総務部長、内野正行学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、平塚俊夫学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、則武辰夫社会教育担当参事兼社会教育課長、金子美也子生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中村藤司保健給食担当参事兼保健給食課長、北健志教育総務課長、関口恭一スポーツ振興課長、鈴木正行文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、齊藤仁教育センター所長、川音孝夫学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、岸健次教育総務課副主幹兼教育企画室長、細山俊男社会教育課副主幹、海老沢康子スポーツ振興課副主幹
[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査
- 4 前回会議録の承認
- 5 会議の傍聴者 別添のとおり（1名）
- 6 開 会 会議の冒頭、富田委員長から、今回の東北関東大震災への事務局職員の対応について労いのお言葉をいただいた。
本日の議案は、第48号から第53号までの6件。

7 議 題

- 議案第48号 平成23年度所沢市教育行政推進施策について
資料に則り、北教育総務課長から説明がなされた。

【 傍聴者入室 午後1時33分 】

以下、質疑。

(佐藤教育長)

前回の委員さんからのご指摘を受けて、市の財政状況について円グラフを使うなど、見やすくなったと思う。対前年比はどうなっているか。市全体の一般会計予算87,330,000千円は前年に比べ微増となっているが、内訳を見ると民生費の伸びが非常に大きく、土木費や教育費が抑えられている。

(山寄教育総務部長)

教育費予算は、平成22年度が約95億円でしたので、今回5億円ほど少なくなっております。昨年度及び今年度は3月補正で国から安全安心な学校

づくり交付金が前倒しになったことから、結果として最近3年間は111億円ほどを維持しておりますが、予算が縮減の方向にあることは間違いありません。次回の会議で、予算の経年変化をお示ししたいと思います。

(内野学校教育部長)

当初予算で比較すると、民生費の割合が約3%増えている一方で、土木費、教育費の割合が合わせて2.8%減っています。

(清水委員長職務代理者)

10ページの1-4-(3)「特色ある学校づくり支援事業」は、前回の協議の際には太字ではなかったが、事業委託料を交付するから太字に変更になったのか。従来から事業委託料を交付していたが、それを今回は重点事業に位置付けたということなのか。

(北教育総務課長)

1、2ページの10の基本目標それぞれにおいて、少なくとも1事業を重点事業とすべきとのご意見がありましたので、今回、当該事業を重点事業としたものです。

(守谷委員)

前回の指摘が反映されていて良いと思った。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

●議案第49号 所沢市社会教育指導員設置に関する規則制定について

資料に則り、則武社会教育担当参事兼社会教育課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(富田委員長)

従来の嘱託職員と非常勤特別職との違いは何か。

(則武社会教育担当参事)

地方公務員は地方公務員法第3条第1項において一般職と特別職に区分され、今回の社会教育指導員につきましては、同条第3項第3号に規定される非常勤特別職になります。従来の「嘱託職員」は地方公務員法に明記されていないことから、今回専門性が高いものとして改めて非常勤特別職として位置付けるものです。

(守谷委員)

教育委員会の中で、他に非常勤の嘱託職員はいないのか。

(則武社会教育担当参事)

これ以外にも、いくつかございます。法に基づいてそれぞれ位置付けていく必要があり、要綱等で規定していくことになると思います。

(清水委員長職務代理者)

社会教育指導員は、各公民館に1名づついる人達のことか。

(則武社会教育担当参事)

社会教育課に所属して家庭教育学級などに携わっている3名の方が対象になっており、公民館にいる方達とは異なるものです。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

●議案第50号 所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則制定について

資料に則り、則武社会教育担当参事兼社会教育課長から説明がなされた。

【 傍聴者退室 午後1時55分 】

以下、質疑。

(富田委員長)

13ページの第11条第3項に「利用者登録の有効期間は、7月1日から翌年6月30日までの1年間とする。」とあるのは、登録団体の総会が概ね6月までに開かれるからなのか。

(則武社会教育担当参事)

そのとおりです。また、使用料の有料化が平成16年の7月から開始されたことも理由の一つです。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

●議案第51号 所沢市教育委員会職員安全衛生管理規程の一部を改正する訓令について

資料に則り、北教育総務課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(清水委員長職務代理者)

今後は、まちづくりセンター長が衛生推進者になるということか。

(北教育総務課長)

そのとおりです。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

●議案第52号 所沢市体育指導委員の解嘱及び委嘱について

資料に則り、関口スポーツ振興課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(富田委員長)

新任の長田様はどのような経歴の方か。

(関口スポーツ振興課長)

スポーツ団体に所属している方です。体育指導委員は、自治会や各種スポーツ団体から公民館長を通じて推薦していただいております。

(富田委員長)

スポーツの種目が分かれば教えていただきたい。

(関口スポーツ振興課長)

野球を続けられてきている方です。

(守谷委員)

解嘱される増田様は、新所沢東地区の方なのか。

(関口スポーツ振興課長)

はい、そうです。

(守谷委員)

地区ごとの体育指導委員の人数配分はどうなっているか。

(関口スポーツ振興課長)

基本的には1行政区あたり10名で、合計110名が定員となっており、地区ごとの人数配分は人口割りにしています。人口の多い三ヶ島地区や小手指地区は、他の地区に比べて多くなっています。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

●議案第53号 所沢市文化財保護委員会委員の委嘱について

資料に則り、鈴木文化財保護課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(富田委員長)

新任の方の学識経験について教えて欲しい。

(鈴木文化財保護課長)

新井様は、絵画に造詣が深く日本画の専門家です。学芸員の資格を有し、院展に多数入選しておられます。また平成19年、22年の埼玉県美術展の審査委員も務められています。上川様は、古文書、近世農村史が専門で、所沢市史に造詣が深く、論文なども執筆しておられます。川井様は、美術刀剣に造詣が深く、埼玉県刀剣審査委員を歴任されています。現在、埼玉県刀剣保存協議会の副会長をされています。新藤様は、考古学の専門家で八王子市教育委員会職員を定年退職予定の方で、八王子城跡の整備に深く関わり、報告書や講演会なども多数行なっておられます。宮本様は、民俗学に造詣が深く、調査研究、報告書など多数ございます。所沢緋(かすり)の調査は特に優れており、所沢市教育功労者表彰も受賞されています。平成9年から16年まで埼玉県文化財保護審議会委員を歴任されています。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

8 協議事項

●市民プール管理運営事業の廃止について

資料に則り、関口スポーツ振興課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(富田委員長)

来場者数が昭和61年以降、急に減った原因は何か。

(関口スポーツ振興課長)

民営のプールが増えたことや夏のレジャーが多様化してきたこと、主な利用者である子供の人数が減少していること、また駐車場がないことなども原因と考えられます。

(清水委員長職務代理者)

埼玉県には海がないので、市営のプールがあってもいいのではないかとも思うが、もっと小さい規模で作り直すことはできないものか。

(関口スポーツ振興課長)

北野市民プールは、教育委員会に運営を委託されていますが、公園施設という位置付けのため、所管は市長部局になっています。今後の方針につきましては、市長部局等で検討していくことになると思います。また、スポーツ振興計画につきましては、市民から温水プールや屋内プールの設置が要望されていますが、類似施設を調査しながら、その必要性を検討することになっております。財政が厳しいことから、具体的な設置計画には至っていない状況です。

(清水委員長職務代理者)

海がない県なので、本当は小規模のものでもプールがあってもいいのではないかと感じた。

(山寄教育総務部長)

東部クリーンセンターが新設される際に、焼却に係る余熱利用が検討され、隣接するカルチャーパークで50メートルプールなどが計画されていましたが、オオタカの営巣が確認されたため、都市計画決定を大きく変更することになり、実現できていない状況です。

(富田委員長)

体力向上を求めるなら温水プールもいいとは思いますが、今の子供たちは民間の魅力あるプールに流れていってしまう傾向にあると思う。レジャー的要素が必要となると公設では難しいのかもしれない。

(守谷委員)

私が小学校4年生の時にできた施設で、当時は大勢の人が来場し、泳ぐスペースがほとんど無いような状況だった。当時はプールが設置されていない学校もあり、補完的な意味もあっただろうが、今は全ての学校にプールが設置されている。清水委員長職務代理者が言われたように、公設のプールがあってもいいとは思いますが、現状では利便性を考えると、利用者の範囲が限られてしまうのは仕方ないのかもしれない。

(京谷委員)

他市の大きなプールに子供たちが行っているということをよく耳にする。現状でも多額の費用がかかっているのを見て、財政上厳しいとは思いますが、仮に作り替えるのであれば、逆に現在よりもっと規模の大きなものにして、他市からも利用者に来場していただくようにするというのも一つの案ではないかと思う。

(山寄教育総務部長)

代替施設等につきましては、今後、全庁的な視点で検討がなされていくものと思われていますが、その中でただ今いただきましたご意見をお伝えしていきたいと考えます。

9 報告事項

○東北関東大震災の支援体制について（教育委員会）

10 その他

- ・教育委員会 4 月定例会：4 月 28 日（木）午後 1 時 30 分～ 602 会議室
- ・教育委員会 5 月定例会：5 月 24 日（火）午後 1 時 30 分～ 602 会議室

各教育委員から、卒業式等への参加の感想をお話しいただいた。

（守谷委員）

私は、三ヶ島中学校と北中小学校に行った。大震災を鑑み、教育委員会からの挨拶等を行わないことになった。今までと雰囲気は異なり、心に残る卒業式だった。

（京谷委員）

私は、中央中学校と北秋津小学校に行った。簡素な中にも温かみのある良い卒業式だった。

（清水委員長職務代理者）

私は、狭山ヶ丘中学校と西富小学校に行った。狭山ヶ丘中学校は大震災の直後だったが、滞りなくコンパクトに行われ、歌がとても上手だった。西富小学校は、余震があったものの小学生らしい力のこもった歌声が響いていた。いずれも開式前に黙祷が行われ、考えさせられる卒業式だった。

（富田委員長）

私は、所沢小学校、安松中学校、所沢幼稚園に行った。所沢小学校では中学生に負けないきれいな歌声が印象的だった。安松中学校では厳かな雰囲気の中行われ、生徒の引き締まった表情が清々しく感じられた。所沢幼稚園は最後の修了式ということで、保護者や教諭も感慨深かったようだ。いずれもすばらしい式だった。当日の式次第について、事前に打合せがなかったので戸惑う場面があった。

（佐藤教育長）

ただ今の件につきましては、教頭の配慮不足だと思います。教育委員会からも指導しているところですが、改めて徹底させる必要があると思います。教育委員会としての学校への支援の仕方を考えていかなければならないと感じています。

11 閉会 午後 3 時 05 分